

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長堂1丁目プロジェクト新築コ	階数	地上10F
建設地	東大阪市長堂1丁目70番13、70番15	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	115 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年7月1日
敷地面積	919 m ²	作成者	百合 伸仁
建築面積	363 m ²	確認日	2016年7月15日
延床面積	2,411 m ²	確認者	百合 伸仁



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 84%
 ③上記+②以外の 84%
 ④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	建物形状や色彩等に配慮して、周辺環境に合致したデザインにしている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能 特になし。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	照明器具にLEDを仕様。	LR2 資源・マテリアル 特になし。
LR3 敷地外環境	特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率に考慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0067

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称		(仮称)長堂1丁目プロジェクト新築工事			
		建設地		東大阪市長堂一丁目70番13、70番15			
		用途/区分		集合住宅			
【評価結果】		CASBEE 総合評価		★★★★★		B-	
		CO2削減		★★★★★		4	
		省エネ対策		★★★★★		3	
		みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★		2	
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—
				太陽熱利用	—	水力	—
						地熱	—
						バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容				スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体		3	
				住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					2.2
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容				スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0	
その他							
		技術の名称			考慮事項		
先進的技術の導入							
特に配慮した事項							